高等学校 × 理数

理数どこが変わる？

まず現行と次期をマーカーで比べ、そのあと現行の解説（公式PDF）を読めます。

変わる所 6項目　解説PDF 2件



10秒でいうと

理数探究基礎・理数探究は現行どおり。文理横断（STEAM）の課題も充実し、全校で指導

高校の共通教科「理数」（理数探究基礎・理数探究。審議まとめでは「理数科」と表記）は、科目の枠組みと学習内容を大きく変えない方向です。今の内容は、探究に最低限必要なものと考えられているためです。そのうえで、探究のテーマを科学・数学に偏らせず、文理をこえた課題も充実することが望ましいとされています。数学・理科の先生だけでなく、全校で指導する体制が望ましいとされています。

どこが変わる？現行⇔次期（高等学校）

黄色のマーカー＝次期で新しく入る・強調される言葉　~~赤の取り消し線~~＝現行から消える・変わる言葉

目標で示す資質・能力

現行	次期（審議まとめの案・告示前）
「課題を解決するために必要な資質・能力」	→「**数理的・科学的に探究する**資質・能力」（課題解決型以外の探究もあるため）

P197 ※目標全体の現行・改訂案の並記は資料編m3 P27（理数①）

目標で扱う対象

現行

「様々な事象」

→

次期（審議まとめの案・告示前）

「事象や**社会の課題**」

P197

見方・考え方

現行

数学的な見方・考え方や理科の
見方・考え方を組み合わせる
などして働かせる。

→

次期（審議まとめの案・告示前）

対象を「事象や社会の課題、**言説**」
とし、「**数理的・科学的**」な
視点から捉え、**批判的**思考の
重要性をふまえて考察する。

P197 ※現行の記述と改訂案の全文は資料編m3 P27・P28（理数①②）

学びに向かう力（情意・感性）

現行

粘り強く考え行動する態度や
倫理的な態度などを規定。

→

次期（審議まとめの案・告示前）

倫理的な態度・粘り強く探究する
態度は引き続き示しつつ、
知的好奇心や問題意識、他者と
対話・協働して学びを調整する
態度を加える。情意・感性は
「数理的・科学的な**美しさや不
思議さを感じる感性**」などで整理。

P197 ※現行の規定は資料編m3 P27（理数①）

探究の対象とする事象の例示

現行

社会的事象や学際的領域も
想定されているが、学校現場では
選ばれにくいとの指摘がある。

→

次期（審議まとめの案・告示前）

科学的・数学的なものに偏らず、
文理横断・文理融合（**STEAM**）の
課題も充実させることが望ましいと
された。数学的事象の例示への
追加も検討すべきとされた。

P195 P197

指導する教師

現行

指導の担当を数学や理科の
教師以外にも広げるべきとの指摘が
ある（課題として記述）。

→

次期（審議まとめの案・告示前）

数学・理科担当に限らない**全校での指導体制**の構築が望ましいと
された。国が仕掛けづくりの
好事例を周知し、数学・理科の
探究的な学びとの関係を示す必要が
あるとされた。

P195 P196 P198

現行の解説を読む（公式PDF）

いまの高等学校の理数の解説です（文部科学省のPDFが新しいタブで開きます）。

PDF **理数編**
高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 理数編

付録

PDF **（付録1）理数探究の事例イメージ**

学習指導要領の本文

PDF **高等学校学習指導要領（平成30年告示）**
全教科の目標・内容（この教科は第2章）

もっとくわしく

理数の変更点（くわしく） 新旧比較（全校種） 高等学校の先生へ
資料室（高等学校のほかの教科）

出典：中央教育審議会 初等中等教育分科会 教育課程部会「次期学習指導要領等に向けた審議まとめ」（2026年10月5日）。P○ は本体PDFのページ、資料P○ は資料編のページ（クリックで該当ページが開きます）。